

好學尚武

春季県大会・1回戦

● 4月26日(金)

春季県大会1回戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
三郷北	0	0	0	0	0	5C				0
市立浦和	3	5	0	3	×					

県大会の1回戦が行われました。

組み合わせ抽選というのは、必ずと言っていいほど野球の神様のイタズラのようなものが存在していると感じます。

今回、市高の対戦相手は三郷北高校・・・監督の大熊先生とはとても親しい間柄で（一緒にお酒を飲む仲です）できれば戦いたくなかったんですが・・・こればかりは仕方ありません（選手には関係のないことです）。

この日の市高選手、集中して戦っている感じがしました。程良い緊張感、でも硬くなってはいない、そんな感じでしょうか・・・先制点、中押しと得点することができました。

次戦も応援等、よろしくお願い致します。

次戦の情報

春季県大会2回戦

4月28日(日)
所沢航空公園球場(1塁側)
11時30分～
対川越工業高校

よろしくお願い致します

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R6.4.27

発行ナンバー 1083号

(松本主将の代・・・69号)

前向きな気持ち

野球部の話ではありません。隣で活動している女子ソフトボール部の子達の話です。

先日、放課後野球部が練習をしていると、公式戦を終えたソフトボール部の2人がグラウンドに戻ってきました。私のクラスの生徒だったので、試合はどうだったんだ？～そんな感じで聞きました。すると・・・3校総当たりのリーグ戦で、1試合は負けちゃったんですけど、もう1試合は逆転で勝てたんです！（どうやら次の日の試合に生き残ったらしい）。嬉しくて学校に戻ってきちゃいました（これから練習します）。

私が高校生頃の頃（30年程前）、遠征試合で負けると、自分の学校に戻って練習というのが結構ありました。恩師に反抗するようですが、今思うとこれはあまり意味がない（皆、イヤイヤ戻り練習をさせられているからです）。ところが今回のソフトボール部の子達のように、嬉しくて（次の日も同じように勝ちたくて、活躍したくて、あるいはその日の良い感触を忘れたくなくて）自らの意志で学校に戻り練習をする・・・これは正反対で、絶大な効果・成果があるのでは・・・そう私は思います。

指導者という立場の難しさをつくづく感じます。試合内容が良い時もあれば悪い時もあります。その時々によどのような言葉がけを子供達にするべきか・・・(今回のソフト部のように子供達を前向きな気持ちにしていきたい・・・)

日々勉強です。